左沢高同窓会報

第33号

発行／山形県立左沢高等学校同窓会
〒990-1121
山形県西村山郡大江町大字藤田字山中816の3
電　話 0237-62-2169
ＦＡＸ 0237-62-4959

印刷／寒河江印刷㈱
〒991-0061
寒河江市中央工業団地58
電　話 0237-86-3361

「商品開発コンテスト」2年目の挑戦　農業愛好会部

令和4年8月2日(火)山形県が主催する「高校生山形のうまいもの米粉商品コンテスト」が、山形市生涯学習センター遊学館にて開催されました。このコンテストは今年で2年目。若者が山形県の食や農林水産業について考え、「地産地消」への関心を深めるためにコンテストを実施しているものになります。最優秀賞に選ばれると山形県内のローソンにて、期間限定販売が約束されます。美味しく魅力的な西村山地域の特産物をＰＲしたい、食を通して笑顔を届けたいという思いのもと、農業愛好会部で結成した2チームが応募。メンバーの中には、3年生の就職希望者もおり、自身の就職活動と部活、日々の勉強と大変時間が限られている中で、根気強く何度も試作を繰り返し、パン作りを進めてくれました。

最終審査の結果としては、入賞を逃しましたが立派にやり遂げることができ、調理技術的にも、精神的にも大きく成長してくれました。今後このメンバー達の思いを後輩へと引き継ぎ、来年こそは左沢高校農業愛好会が開発したパンが、コンビニで店頭販売され、皆さんの手元に届くことを願っています。

▲商品のプレゼンテーション

コロナ禍の中で活躍する左高生徒

左沢高等学校同窓会会長　毛利登志浩

今年度の同窓会総会は、新型コロナの感染が収まらない中ではありましたが、役員の出席のもとに大江町中央公民館で開催されました。来賓に丹野校長先生をお迎えし、無事終了することができました。年々入学する生徒の減少について、役員の十数年前より、支援の在り方を含めて話し合っているところです。大江町では、通学でＪＲを利用する生徒に半額助成、英検検定等の費用助成を始め、生徒諸君の活動を広報おおえ」に掲載しているほか、逐次左沢高等学校の活動を紹介していただいています。

気候変動の中で、今年も大江町の百目木地区で豪雨災害が発生し、大きな被害を受けましたが、多くの生徒が災害ボランティアとして活躍いただきました。全国高等学校野球大会の山形県予選に左沢高等学校は単独で出場し、頑張ってくれました。

先般、学校創立74周年記念式典に参加しました。驚いたことに、校歌は声を出さずにCDに合わせて、心で歌っているのです。このような状況は、「コロナ禍の中で仕方ないのです。県教委の通達によるものです」と説明していただきました。今の在校生は、校歌を歌ったことがないとのことでした。

今年度の全校生徒は124名、教職員は40名で、新たなスタートを切りました。「地域社会を担う有為な人材を育成する」を教育目標に掲げ、生徒の実践目標である「啐啄同時」「凡事徹底」の心構えの中で高校生活を享受しています。

地域との関わりでは、今年で開設100周年を迎えたＪＲ左沢線の祝賀イベントで「あてらざわマルシェ」にジャムなどの農産物加工品を出店いただき、好評を博し盛り上げてくれました。同じく100周年となる水郷おおえ夏祭り花火大会を彩る「青竹ちょうちん祭り」の飾り付けを手伝うなど、地域との交流を積極的に行っています。

同窓会の皆様には、左沢高等学校をより充実・発展し、多くの生徒たちが入学したい学校にするためにも、これまで以上のご理解とご支援をお願いします。

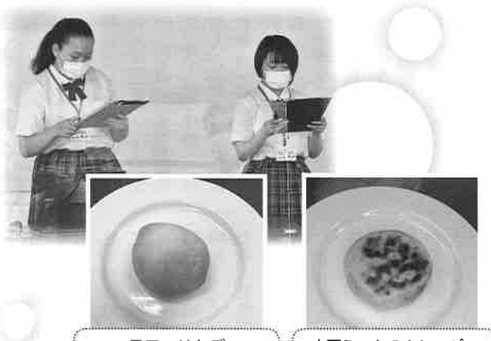
成長し続ける

3年1組　浦山愛理

私は農業愛好会部に所属し、2年生のときに、山形県農林水産物を使用したパンのコンテストに応募しました。初めてのコンテストに、後輩を指導しながらの部活で、悩むことがあったりして大変なこともありましたが、周りの人と協力しながら取り組み、里芋を使用したカレーグラタンパンで優良賞をいただくことができました。

3年生の時は、同級生とコンビを組み米粉のコンテストに出場しました。2年生の時のコンテスト経験を活かし、どんな商品なら、審査員に評価されるのか、購入してくれる人が気に留めてくれるのか、考え試行錯誤を重ね「大豆ミートのカレーパン～ヘルシーに焼いちゃいました。～」で応募し、最終審査まで残ることが出来ました。

2年生の時にコンテストを経験していなければ、3年生の時にリベンジしようと考えることはなく、ここまで頑張れなかったと思います。この部活動は私にとって力になる3年間でした。



ラフ・りんご
～りんごとラ・フランスのバタークリーム入り～

大豆ミートのカレーパン
～ヘルシーに焼いちゃいました。～

高校生山形のうまいもの米粉商品コンテストに参加して

3年1組　須貝各務

今回のコンテストで、私は2年生の後輩とペアを組み、山形県で盛んに栽培されているリンゴとラ・フランスを使った米粉パン「ラフ・りんご～りんごとラ・フランスのバタークリーム入り～」を考案しました。米粉のパンは初めて作ったので、水分量やこね具合などが分からず、何度も失敗しました。中に入れたりんごとラ・フランスのバタークリームも、バターの量やパンで包む作業が難しく、本番ギリギリまで練習しました。

書類審査を通過し、最終選考まで残ることが出来ました。最終選考は、5分間のプレゼンテーションとパンの食味審査、質疑応答でした。人前でプレゼンする機会はあまりなかったので、とても緊張しましたが練習通りに発表することができ、良い経験になりました。

今回のコンテストで、何度も諦めかけましたが、最後まで諦めずにやり遂げることが出来て良かったです。

「地域とともにあり、地域とともに歩む学校」を目指して

校長　丹野　学

昨年度に引き続き、校長を務めております丹野学でございます。先ずは以って、大江町をはじめ県内各地に甚大な被害をもたらした8月初旬の豪雨災害に際し、被害に遭われました皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

左沢高等学校同窓会の皆様には本校の教育活動全般にわたり、日頃より物心両面にわたる温かいご支援を賜り、心より御礼を申し上げます。今年度も本校の更なる発展のため全力を尽くしていく所存でございますので、同窓会員の皆様におかれましては、これまでと変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

昨年度の同窓会報の校長あいさつの中で、会議室の窓から一望に見渡す、雪を頂いた月山、そして校歌の冒頭の歌詞に謳われている如く、日に照らされ美しく輝く朝日連峰の姿を仰ぎ見て、たいへん感動したことを赴任初日の思い出として紹介しましたが、それから1年。私自身、初めての左沢での厳しい冬を経験したこともあり、昨年にも増して、今年の春の訪れに大きな喜びを感じるとともに、山々の美しさに改めて心を洗われる思いをしながら、赴任2年目となる令和4年4月を迎えました。

4月8日の入学式において、新入生33名を迎え、全校生徒124名、そして教職員40名、総勢164名の陣容でスタートした「令和4年度左沢高等学校」は、3年目を迎えたコロナ禍の中ではありますが、昼食時の黙食や換気、手指消毒の徹底などの感染予防策を徹底しながら、コロナ禍以前とほぼ同じような形で学習活動及び各種活動を展開しており、生徒たちも意欲的に諸活動に取り組んでおります。学習活動においては、2年次における「課題探究」に今年度も力を入れて取り組んでおり、大江町の現状と抱えている諸課題を高校生の視点で捉え、それを基に生徒がグループごとにテーマを設定し、地域の皆様のご協力を得ながら、そして地域の皆様と協働しながらその課題の解決の道筋を構築しようとする取組を1年間通して行っております。また、部活動においては、生徒数及び教員数の減少に伴い、今年度、部活動の在り方を見直し、運動部5部（野球部、バスケットボール部、女子バレーボール部、剣道部、総合運動部「ソフトボール班、卓球班、テニス班」）、文化部4部（放送部、ＪＲＣ部、農業愛好会部、総合文化部「吹奏楽班、美術班、茶道班」）に再編を行い、新たな体制で活動を行っております。県の予選を勝ち上がり、全国大会や東北大会に出場している部もあり、剣道部において、2年生の富田紅緒さんが全国高等学校総合体育大会（インターハイ）剣道競技女子個人に出場し、女子団体においても東北高等学校総合体育大会剣道競技に出場しました。また、放送部も、ＮＨＫ杯全国高等学校放送コンテストへの32期連続出場や東京都で行われた全国高等学校総合文化祭（放送部門）のビデオメッセージ部門においてＡブロック第3位を果たすなど輝かしい成績を残しております。

このように、生徒一人一人が自らの個性を発揮し、生き生きと充実した学校生活を送ることができますのも、偏に、同窓生の皆様をはじめ、左沢高等学校を温かく見守ってくださる地域の皆様のご支援とご協力いただいているからこそと厚く感謝申し上げます。また、今年4月のＪＲ左沢線全線開通100周年の記念イベントをはじめとする地域の様々な行事等で、本校生の関わりの場、活躍の場を与えていただいていることに感謝するとともに、本校は「地域とともにあり、地域とともに歩む学校」であらねばならないという思いを強くしております。本校の学校教育目標である「地域社会を担う有為な人材を育成する」は、正に「地域とともにあり、地域とともに歩む学校」を目指す本校の使命であり、皆様との約束であるとも言えます。この使命と約束を果たすべく、生徒・教職員一丸となって、邁進していく所存ですので、今後ともお力添えいただきますようお願い申し上げるとともに、左沢高等学校同窓会の益々のご発展をご祈念申し上げ、挨拶といたします。

おめでとうございます

第87回東光展

◇萩生田文部科学大臣賞 受賞

「北の朝市にて」

庄司　勲 さん（本全昭34卒）

令和４年度　春の叙勲

◇瑞宝小綬章 受章

吉　見　慎太郎 さん
（元校長）

平成29年度　山形県教育功労者表彰

◇教育功労者表彰受賞（芸術文化）

長　澤　正　機 さん
（旧・渡辺）（本全昭36卒）